



読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を

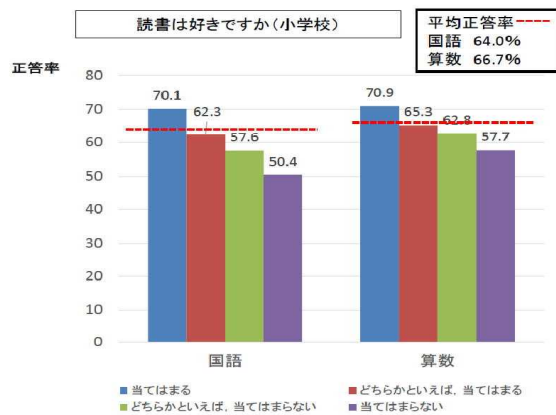


子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの(略) (子どもの読書活動の推進に関する法律 第二条)

本には様々な分野のものがあり、子ども(もちろん大人も)の様々な興味・関心に応じてくれます。

読書の習慣が身につくと、知識が身につく読解力を向上させるとともに、「生きる力」の基になる考える力や感じる力、想像する力、表現する力などを育ててくれます。

また、話題が豊かになり、「コミュニケーション力が高まる」「楽しい時間を過ごすことができる」「実際に体験できないことが間接体験できる」「先人の考え方や人生観に触れることができる」などの良さもあります。



左のグラフは、全国学力・学習状況調査(H31年度)における、質問紙「読書は好きですか」と正答率の相関関係を示しています。グラフからも読書好きの子どもの方が正答率が高い傾向にあります。

現在全国の学校で、学習指導要領に示されている「社会の変化に対応し、自ら課題を見つけ、学び、考え、判断して行動できるような力を身につけること」を日々の教育活動で学びを進めています。

文章を読んで、その内容や意味を理解する力を「読解力」といいます。この読解力は、すべての教科の土台になる力です。

この「読解力」は、文章を正しく理解するだけでなく、知識を駆使し、自分なりに考えられる力のことです。「読解力」を高めるために、「読む力」「考える力」「それをアウトプットする力」を重点的に育てていくことが大切です。

本校では、今年度の研究主題を「自ら考え合い、学びを広げ深める子どもの育成～つながり、学び合う授業づくり～」と設定し、日々の授業を通じて授業改善に努めています。

子どもたちが自分の考えをもち、「学びたい」「話したい」と思う学習課題を設定して、活発な話し合い活動を実現することで、対話的で考えが深まる授業となるように取り組んでいます。

本を読むことで、語彙力高まってきます。そして、その内容を理解したり、人に話したりする中で、要約力もついてきます。

山崎小学校では、本に触れる機会として、毎週読み聞かせボランティアさんや岩出図書館から司書の方が来てくれています。また、図書館の時間や本の貸し出しもして、本に親しむ機会を設けています。(図書ボランティアは随時受付しています。)

国語の時間でも、物語文を読んだり、今勉強している同じ作家等の本を紹介して「並行読書」をしたりしています。

まずは、本に親しむ読書「量」から、読み方を学んで読書の「質」を高め、生涯につながる読書活動に繋がればと思います。

12月・1月の主な行事予定

12月 9日(金) 喫煙防止教室(6年)

10日(土) 11日(日) 那賀地方学校美術展(西貴志小学校)

16日(金) 委員会活動

22日(木) 個人懇談会(2者)

23日(金) 2学期終業式

24日(土) 冬休み

令和5年1月1日(日) 元日

9日(月) 成人の日

10日(火) 3学期始業式

13日(金) 委員会活動

20日(金) クラブ活動

28日(土) 那賀地方長距離大会



行事につきましては、諸般の事情で変更する場合があります。

3学期

「あい」のある学校の風景



【ミシンボランティア5年】



【いのちの授業2年】



【人権教室4年】



【人権・なかよし集会】



【食に関する指導2・4年】



【学校運営協議会】